

# 国際的ロードツーリズムから視定 ツーリング環境創出に関する研究

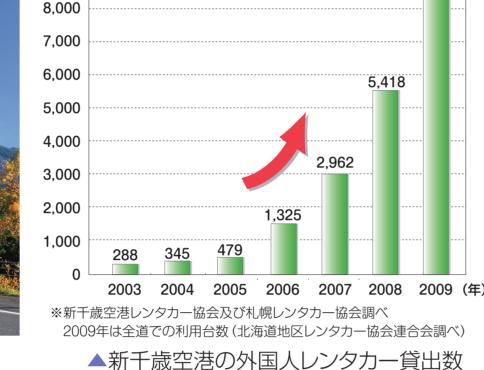


地域景観ユニットでは、北海道における国際的ロードツーリズムの振興 の視点から、魅力あるツーリング環境の実現につながる研究を進めます。

## 国際的なロードツーリズムの創出への必要性

北海道ではドライブ観光が年々増加しています。特に外国人は急増して おり、今後も増加が見込まれています。さらに、北海道においては国際競争 力の高い分野でもあり、バリアのある外国人にとって快適な環境を創出す ることは邦人観光客や一般の交通ニーズにも大いに参考となります。

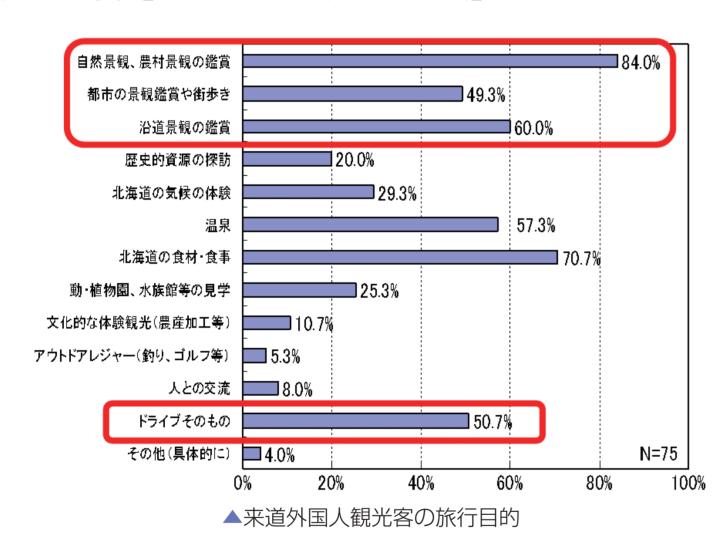


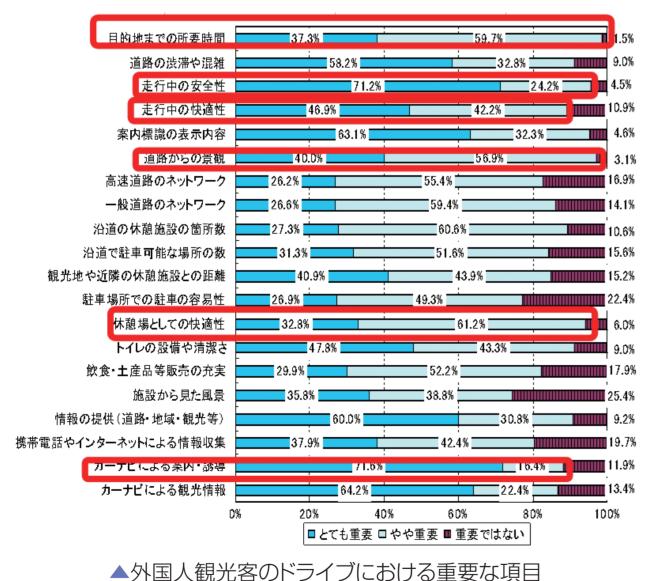


▲外国人にとっても魅力的な沿道景観

# 外国人観光客のドライブ目的

ドライブ観光の目的は「自然景観、農村景観」など「沿道景観の鑑賞」が多 く挙げられました。さらに、実際にドライブ観光を行う際の重要な項目でも 「道路からの景観」は「とても重要・やや重要」としました。





## 海外での取り組み

海外では、行政が積極的に「ツーリング環境の魅力向上」や「国外に向けた情報の提供」 などの施策を行っています。

#### 諸外国の取り組み概要一覧

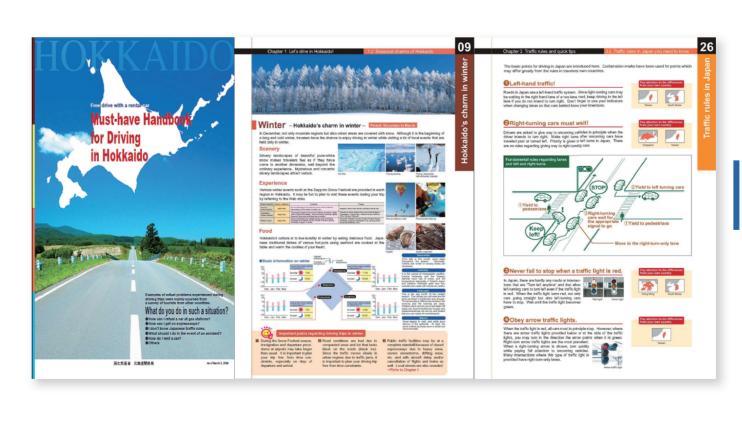
国名	ドイツ	フランス	イギリス	<b>学</b> でオーストラリア	ニュージーランド	アメリカ	<b>▶</b> カナダ
ブログラム等の 名称	ドイツ観光街道 (休暇街道)	フランスの美しい道	ドライビング・ イン・ブリテン	遺産街道とツーリング ルート	ニュージーランド 8街道	シーニック・バイウェ イ・プログラム	観光街道
主体	ドイツ政府観光局 自治体等	フランス政府観光局 エールフランス	英国政府観光庁	タスマニア州観光・芸 術・環境省	政府観光局 陸運輸送庁	連邦道路庁 US.DOT	オンタリオ州観光局
開始時期	1927年 (1950年に本格化)	2005年 (2年間のキャンペーン)	2005年	2003年	2000年 (約7年間のキャンベーン で2006年に終了)	1989年(取り組み) 1996年(指定)	1990年代
ルート数	150以上 (地域や自治体レベルで選定 するものもあるため正確な数 は不明)	10	5	11	8	126 (連邦指定)	18 (オンタリオ州のTourist Routes)
指定の性格	主体が独自に選定	主体が独自に選定	主体が独自に選定	主体が研究をふまえ選定	主体が独自に選定	地元等の取り組みを主 体が評価して認定	主体が独自に選定
取り組みの性格	・内発的取り組み ・関連組織による一部 日本に向けた強力なブ ロモーション	・関連組織による日本 向けプロモーション	・関連組織による日本 向けプロモーション	・内発的取り組み ・関連組織によるブロ モーション ・関連組織による研究	・関連組織による日本向けプロモーション	・内発的取り組み ・関連組織によるブロ モーション	・関連組織による一部 日本に向けた強力なブ ロモーション
情報発信元	政府観光局	政府観光局	政府観光庁	州観光局	政府観光局	連邦交通省	政府観光局 州観光局
広報・PR手法	・Webサイト ・ガイド ブック (6つの観光街道が対象ノロマンチック街道は別途詳細有)	・Webサイト ・ガイドブック	・Webサイト ・ガイドブック	・Webサイト	・Webサイト	・Webサイト ・ガイドブック	Webサイト
Webサイト の内容	・ドライブルート ・観光案内 ・詳細マップ	・簡易的な観光案内	・簡易的な観光案内	・簡単なドライブルート ・簡単な観光案内	・ドライブルート ・簡単な観光案内	・ドライブルート ・観光案内 ・詳細マップ	・ドライブルート (メーブル街道のみ) ・観光案内
ガイドブック の内容	・ドライブルート ・観光案内 ・詳細マップ	<ul><li>簡易的なドライブルート</li><li>充実した観光案内</li></ul>	・ドライブルート ・観光案内			・ドライブルート ・観光案内 ・取り組み概要	
<b>Webの使用言語</b> (国数カウント)	26カ国に対応 (日本語有り)	37カ国に対応 (日本語有り)	42カ国に対応 (日本語有り)	9カ国に対応 (日本語有り)	9カ国に対応 (日本語有り)	日本語対応無し	10カ国に対応 (日本語有り)

## これまでの調査結果のまとめ

これまでの調査から外国人ドライブ観光客について以下のことがわかっています。

## 来道した外国人観光客のニーズと課題

- 旅行計画段階のドライブ情報の提供が重要
- ▶ドライブ全体を満足とする観光客は沿道景観も満足とする観光客が多い。
- 一般道のネットワークなどツーリング環境の評価は高い
- ツーリング中の休憩施設に対するニーズが高い
- 道の駅などの休憩施設でのツーリングに関する情報提供へのニーズが高い。
- 休憩施設としての道の駅の認知度は低い
- 様々な情報の一元化した提供が必要
- 国により通行帯や標識に違いがあるため、交通ルールの効果的な情報提供が必要
- 言葉に不安を感じる。特に事故などの緊急時に不安が強い。



### ▮北海道ドライブ **|** まるわかりハンドブック

(ドライブ情報や交通ルールな どの情報を一元化し多言語で インターネットなどで提供した 事例:北海道開発局作成)

## 地域景観ユニットの取り組み



レンタカーの利用



するドライブ観光客(えりも岬)

旅行計画時のドライブ情報の提供とあわせて沿道景観や休憩施設などのツーリング環境の魅 力向上は、国際競争力の向上につながり地域の振興に貢献すると考えています。 そこで、魅力的なツーリング環境の創出について、以下の研究を行っています。

● 現状の課題や利用者ニーズなどの把握 ● ツーリング環境の評価分析手法の提案

(独)土木研究所 寒地土木研究所